

第 16 回 都市計画道路殿町羽田空港線ほか  
道路改築工事に関わる河川河口の環境アドバイザー会議  
(令和 4 年 9 月 26 日開催)

主な意見・指摘事項と対応について

1. 第 15 回アドバイザー会議 指摘事項の確認

意見・指摘事項	対応
特になし	-

2. 令和 4 年度の事後調査計画

意見・指摘事項	対応
特になし	-

3. 令和 4 年度定期環境モニタリング調査（春季・夏季）の結果

意見・指摘事項	対応
<水質・水象> ♦ 特になし。	-
<地形> ♦ R4 年度 5 月の測定時までには地形変化を引き起こすような出水はあったか。出水状況・気象状況（降水量、気温等）も半年分程度、併せて記載して欲しい。	♦ 埋戻し（R3.7 月）から今年度春季（R4.5 月）の出水・台風等の気象状況も、併せて整理いたします。
<植物> ♦ ヨシ群落の草高の測定時期は、5 月ではまだ生長途中なので早いのではないか。今回測定したのは去年の枯れた部分まで測定しているように見え、現時点で橋梁の日陰の影響が無かったとは評価出来ない。現地視察時に草高が低く、陸側では群落の後退があるように感じられた。多分影響はあると思う。	♦ 10 月に予定している秋季調査の結果を踏まえ、橋梁の架設後の影響を評価するとともに、次年度は調査時期を見直し、ヨシが最も生長する 9～10 月に調査いたします。
<鳥類> ♦ 今回オオバンやスズガモの確認数が多かったが、これらの種は餌を求めて周辺を移動しており、1 日で確認数が大きく変わることは普通にある。確認数だけで評価することは難しい。長期的な調査結果を参考にしながら評価した方が良い。	♦ 継続的に実施している調査情報を入手し、生息状況の動向を踏まえ、影響を評価いたします。

第 16 回 都市計画道路殿町羽田空港線ほか  
 道路改築工事に関わる河川河口の環境アドバイザー会議  
 (令和 4 年 9 月 26 日開催)

3. 令和 4 年度定期環境モニタリング調査 (春季・夏季) の結果 (続き)

意見・指摘事項	対応
<魚類> ♦ 特になし。	—
<底生生物> ♦ 工事箇所だけでなく、全体的に底生生物相が乏しい。 ♦ 民間が継続的に実施している調査結果等の情報も収集し、どのような変化が起きているか把握しておくが良い。河口全体の生物相の変化も併せて影響評価する必要がある。	♦ 周辺でどのような調査が行われているか情報収集し、これらの調査結果も参考にしながら、影響を評価いたします。
♦ 継続的に確認されていたエドガワミズゴマツボが確認されていない。	(委員からの発言) ♦ ここだけではなく、周辺でも確認されなくなっている。
<底質> ♦ 特になし。	—
<その他> ♦ 歩行者の数はカウントしているか。橋の利用者が増えれば自然環境への関心の高まりにも繋がる可能性がある。自然環境管理・利用という点で、歩行者の動向が気になるので、歩行者の数の情報をいただきたい。	♦ 開通直後の調査では、歩行者交通量は約 1,000 人/12 h、自転車交通量は約 800 人/12 h でした。

以 上